



員弁川散歩道の桜並木（北勢町垣内）

いなべ市より気温が 68℃低い!?

南極大陸の大自然

3月15日（月）藤原中学校で、いなべ市の地域おこし企業人として活動している小林悟志さんが、南極地域観測隊員だった10年前の体験をもとに講演を行いました。生徒は、日本では体験できない白夜やブリザードなどの気象現象や南極にしか生息しない生物などの話に好奇心をくすぐられたようで、いくつも質問をしていました。

また、小林さんは、地球温暖化について触れ「温暖化が叫ばれているのは主に北極圏で、南極圏の様子が伝えられることは少ない。真実を知って、地球全体を考える視野をもってほしい」と話しました。

1.2. 小林さんの話に聞き入る生徒たち 3.2 万年前の氷の気泡が「パチパチ」と弾ける音に耳を澄ます 4. 南極で寝袋無しで眠れるほど暖かい防寒服



消防団に新たな風

“初”の女性団員

3月28日（日）員弁コミュニティプラザで行われた消防団入退団式に、制服に身を包んだ凛々しい女性の姿がありました。彼女たちは、消防団に新たに加わる団員8人です。

通常、消防団員は火災現場で消火活動や後方支援を行います。しかし彼女たちは、市民へ防火・防災を呼びかける「予防」に特化した活動を担います。

8人は職種も年齢もバラバラで、中には仕事や家事、育児をこなしながら入団を決意した人もいます。団員の一人は、「防災の知識経験を持ち合わせていない自分ですが、そんな私が率先して学ぶことで、周囲に影響を与えていきたい」と意気込みを話していました。

今後は、女性ならではの視点や育児経験を活かし、非常時の備えについて広報・啓発を行っていく予定です。

1. 制服に身を包む女性団員 2. 式典で気持ちを1つに



全国1位を市長に報告

硬筆で文部科学大臣賞



第36回全国学生書き初め展覧会の高校生・学生の硬筆の部で最高賞となる文部科学大臣賞を受賞した阪田朱唯斗さん（北勢町出身、四日市高等学校）が、3月10日（水）に市長を訪問しました。

阪田さんは「新型コロナの影響で、教室に通う時間が限られ、自宅での練習が多くなりました。自分で目標を立ててコツコツと取り組んだことが結果につながり、うれしいです。社会人になっても、字を活かせられると思うので、今後もうまくなるために日々努力していきたいです」と意気込んでいました。



▲左から鈴木書写道学院長・鈴木世津子さん、阪田朱唯斗さん、市長

いなべ総合学園の生徒が発案

駅でイルミネーション

3月15日（月）～4月25日（日）の間、三岐鉄道北勢線阿下喜駅にイルミネーションが飾り付けられました。これは、いなべ総合学園高等学校の1年生全員が参加してまちづくりのアイデアを出すコンテスト（INA-CON）で、提案され実現したものです。平成28年度から毎年実施されているもので、これまでに「い～なひまわりプロジェクト」などを実現してきました。初日の点灯時には、取り付けに参加した生徒たちから歓声が上がっていました。期間中は、毎晩駅を彩っていました。

1. 生徒が提案したイルミネーション 2. ホームも幻想的な光に包まれました



新たな体験施設が完成

いなべ藍ランドで藍染め

大安町にあるフラワーセンターが藍染体験などを行う施設「いなべ藍ランド」に生まれ変わり、3月18日（木）初めての体験会が行われました。この日は、市内をはじめ名古屋市や桑名市など周辺地域から訪れた人が、衣服など自分が染めたい素材で体験していました。ここでは天然の素材を使って染め液を作り、天然灰汁発酵建てと呼ばれる国内でも希少な染め方を体験をすることができます。

また藍染めには、殺菌、消臭、癒しなどの効果があるといわれています。名古屋市から訪れた参加者は、「藍の匂いが好きで落ち着く。染料を洗い落としたときの美しさに感動する」と話していました。

1. 染料を洗い流すと鮮やかな色に 2.3. 藍を発酵させた染料に、ゆっくりつけていく

